

デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進

新型コロナウイルスによる危機は、社会全体のデジタル化を一気に加速させました。国はデジタル・ガバメントの構築を最優先の課題として位置付け、デジタル庁の創設など様々な動きをみせています。

本町では、行政手続きのオンライン化などデジタル技術の導入により、町民サービスの向上に努めてまいります。

コロナ禍のピンチをチャンスと捉え、ニューノーマルな時代に、より良い町民サービスを提供できるようデジタル化を推進します。

海洋深層水関連産業の活性化

(1) 海洋深層水関連産業の振興

海洋深層水関連産業の振興については、海洋深層水をクリーンエネルギーの供給や、食糧・水の生産に複合的に活用する持続可

能な島嶼コミュニティ「久米島モデル」実現に向け、久米島海洋深層水活用全体計画を策定し、大規模取水管導入に向け取り組んでまいります。

(2) 再生可能エネルギーの普及・啓発

地球温暖化対策に取り組む世界的潮流を受け、再生可能エネルギーの普及が急務となっており。

本町でも久米島町エネルギービジョン2020及びゼロカーボンシティ宣言の推進を図る取り組みとして、海洋温度差発電の実用化や公共施設への太陽光発電設備の設置、児童・生徒対象のエネルギー教室の開催等、町内での再生可能エネルギーの普及・啓発に努めてまいります。

消防・防災体制の充実及び推進

複雑・多様化する災害に対応するため、消防職員、団員を消防学校等の研修に派遣し消防業務の知識及び

技術の向上を図ります。

救助工作車は、配備から22年が経過し経年劣化が著しいことから令和4年度において更新いたします。

救急業務については、救命率の向上、傷病者の負担軽減等質の高い救急医療を住民に提供するため、積極的に病院実習や追加講習を実施します。

住宅火災の予防対策について、女性消防クラブと連携しながら、住宅用火災警報器の設置を推進するとともに、維持管理の啓発に努め、高齢者の安全確保、火災予防広報等に引き続き取り組んでまいります。

地域防災については、年々激しさを増す風水害等の大規模災害に備え、本町の常備消防力の充実強化をはじめ、地域防災力の中核となる消防団や自主防災組織等の更なる充実強化を図り町民等が安全・安心に生活ができる体制を構築し、災害に強いまちづくりに取り組んでまいります。

防災体制については、さまざまな災害を想定し準備するとともに、引き続き

新型コロナウイルスの感染状況などを注視しながら、感染拡大の防止と防災・危機管理体制の強化に努め、安全・安心の確保に取り組んでまいります。

災害の種類と被害想定に応じて早期の対応により命を守る行動をとっていただくよう、平時からの周知に取り組むため、防災マップの見直しを行います。

防災行政無線は令和4年度にデジタル化へ移行します。災害情報等の伝達については、データ放送やFMラジオ等も活用し、迅速かつ正確な情報伝達を図ってまいります。

以上、令和4年度の施策の骨子について、述べてまいりました。

私が町長に就任して以来、「久米島の再生政策6本の柱」を掲げ、一次産業の復活、教育の再生、観光産業の再生、福祉の充実、公共事業の推進、次世代産業の誘致による雇用の創出に取り組んでまいりました。

2期8年間を振り返ってみると、思い入れのある事

業として、久米島高校の生徒数増を目的に久米島町地域支援交流学習センター(じんぶん館)の整備や水産物及び甘しょ加工施設、久米島斎場、納骨堂、複合型防災・地域交流拠点施設(ほんのもり)の整備などがあります。一方で、人口減少問題や海洋深層水取水管の拡大への取り組みは達成することはできませんでした。

島の課題解決に向け、町民や議会、町職員、家族の支援があつてここまでやることができました。できることはやり通したと思っております。この場をお借りしてすべての関係者に感謝申し上げます。

結びに、私の任期も残りわずかでございますが、引き続き、我が町の将来像であります「夢つむぐ島」久米島みんなで織り上げる未来のまちづくりを目指し、残りの任期を全うしたいと思っております。

町議会並びに町民の皆さまには、最後までご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。ご協力をお願いします。